

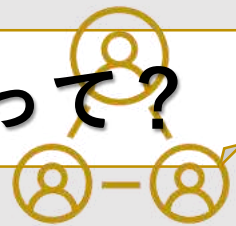
地域創造学環のフィールドワークってどんなことを学ぶの？
学内地域連携拠点フィールドの学生が各フィールドワークを巡ったレポート

フィールドワーク紀行

in 伊豆半島

Vol.4

学内地域連携拠点フィールドって？



Q. どんな活動をしているの？

学内地域連携拠点フィールドは「つなぐ」をテーマに、地域と学生、地域創造学環のフィールド同士をつなぐ活動を行ってきました。2023年度は4人のメンバーで活動を行っています。



これまでの活動

(1) 各フィールドの取材

地域創造学環のいくつかのフィールドワークの活動取材し、その様子を「フィールドワーク紀行」としてまとめました。



(2) フィールドワーク交流会の開催

フィールドワーク活動の情報発信をテーマに、異なるフィールドの学生同士が情報を交換・共有し、フィールドワーク活動の情報発信の在り方について意見を出し合いました。



Q. どうして伊豆へ？

静岡大学東部サテライトオフィスの内山智尋先生のご協力のもと、2023年9月3日・4日の2日間にわたり伊豆市を訪れました。観光スポットで伊豆市の歴史や自然の魅力を実感するとともに、地域の方々との交流を通して地域の現状や課題を理解しました。これらの活動を通して、学生と地域のつながりについて考えました。「フィールドワーク紀行in伊豆半島」では、私たちの伊豆訪問の様子を紹介します。



FWレポート

ジオパークは、岩石パークではない！人も合わせてジオパーク！

9月3日、4日に回った伊豆のスポットを紹介します。

9月3日 10:30-11:15

●伊豆半島 ジオパークミュージアム

伊豆半島について学ぶことができる施設です。ジオガイドの金沢さんに館内を案内していただき、伊豆半島の成り立ちを最新のプロジェクトンマッピングや大型スクリーン・顕微鏡などから学びました。



金沢さん



9月3日 11:30-12:00

●みんなの居場所「ののほな」

喫茶店でありながらも地域の人々が興味のあることを楽しむだけでなく、観光客も入ることができる見学自由な居場所です。「ののほな」を拠点に子どもとの交流のきっかけづくりをされている池田さんのお話を伺いました。地域の課題に危機感を持って発信する活動をされている方が、これからの地域の発展には欠かせない存在だと感じました。

9月3日 13:00-14:00

●陶芸体験(ciro工房)

伊豆に移住された方が営まれている工房に伺い、実際に陶芸体験をさせていただきました！店主さんによると、伊豆には陶芸教室が少なく、コミュニティが小さいので、色々なイベントに顔を出すと声をかけてもらうことが多いそうです。地域の方とつながっていると感じる聞き、温かい気持ちになりました。



完成した作品



9月3日 14:30-15:30

●修善寺温泉街散策

修善寺を代表する観光地です。修善寺ふれあいガイドの方に修善寺温泉街を案内していただきました。ガイドの方からは修善寺の歴史だけでなく、伊豆の魅力などについても伺うことができました。また、ガイドの方にとって、案内が生きがいとなっていると感じました。



9月3日 16:30-17:30

●オートクラフト 次ページに詳細



9月4日 9:45-10:20

●天城浄蓮の滝

玄武岩の崖に高さ25m、幅7mの滝、滝壺の深さは15m。日本の瀧100選に選ばれています。普段あまり触れることのない自然を存分に感じることができました。



展示物

9月4日 10:25-10:50

●伊豆市天城湯ヶ島市民活動センター(あまじお)

旧湯ヶ島小学校をリノベーションし利用されている施設です。同校出身の作家・井上靖の資料室、ジオパーク展示室「あまじお」、天城図書館を併設し、地域の人が集まる場所となっています。あまじおでは、2019年に静岡大学理学部主催のイベントを開催するなど、静大とのつながりが強い場所でもあります。



●しろばんばの里散策・上の家

旧湯ヶ島小学校出身の作家・井上靖の自伝的小説「しろばんば」の舞台である伊豆湯ヶ島にオープンした、しろばんばの里。小説には「御料局」として登場し、現在は芝生が一面に広がる公園です。上の家は、工学院大学の学生が携わり、伊豆市、地元の観光協会、建設菓子屋の連携より保存改修工事が行われました。現在は、地域のボランティアによって一般公開が行われています。歴史的な建造物を地域一帯となって残していくという意思が伝わってきました。



上の家かみのいえ
井上靖の老家。
当時のまま残されています。



9月4日 12:00-14:00

●ふらっと月ヶ瀬
(福祉複合施設) 次ページに詳細



9月4日 16:15-16:30

●ラジオ出演!

87.2MHz FM IS みらいずステーションに出演させていただき、とても貴重な体験でした。

お疲れ様でした!!



複合施設ふらっと月ヶ瀬

複合施設ふらっと月ヶ瀬とは・・・

天城デイサービスセンター、あまぎ認定こども園、就労継続支援B型事業所プラム、プラムカフェの4つの施設で構成されています。私たちが訪れた就労継続支援B型事業所プラムでは、知的、精神、身体の障がいを持つ人が、自動車の部品加工や菓子箱折りなどの下請け作業や、ミシンで製作したオリジナル刺繍タオルの製造販売などを行っています。また、SDGsの取り組みとして、障がいのある方々が農業に関わる「農福連携事業」を行い、福祉の垣根を超えた地域コミュニティの実現を目指しています。地域の方々と共にライ麦を育て、収穫したのちにストローやヒンメリを作成・販売しています。



お話を伺いました



ライ麦のストロー

ヒンメリとは、1150年頃にフィンランドで作り始められた伝統的な装飾品です。ヒンメリを飾ることで、闇をさまよう霊から家を守ることができると信じられてきました。



複合施設という特徴により、施設内で幅広い年齢層の方々の交流があることが、とても魅力的であると感じました。また、障がいをもった方々が製造を行うことによって、施設運営費を得るという経済的価値だけでなく、生きがいの醸成や地域交流といった様々な価値を生み出すことができると感じました。

FMIS出演

2日目の最後に、伊豆市のローカルラジオ「FMIS」に出演させていただき、この2日を通して自分たちが考えたことや感じたことについてお話ししました。ラジオの中でお話ししたことを紹介します。

実際にフィールドを訪れ、現地の人との交流することによって、インターネット上では感じることのない伊豆の温かさや、伊豆が抱えている問題などを感じることができました。特に、地域の方は若者の力を必要としていることを改めて実感しました。

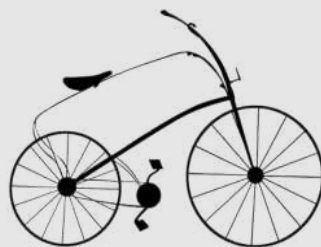


AUTO CRAFT IZU

オート

クラフト

伊豆



● 創業40年の変形自動車製作会社

カタログモデルだけで**50**種類、
その他特注等含め**100**種類を超える自転車や
廃線を利用したレールバイク、足漕ぎ機関車、
園内バスの改造も手掛けています。



● お話をきいて

現在、変形自転車制作会社として残っているのはなんとオートクラフト伊豆のみとのことです。
地域や人との繋がりが薄れてきている現代でも、おもしろ自転車の使い方を一緒に考えている内に
楽しみながら自然と距離感を縮めることができるなど「ただ遊んで終わり」だけではないところに
インクルーシブ自転車の魅力が詰まっているように感じました。
誰もが同じように楽しめる自転車を作りたい、そしてより多くの人を笑顔にしたいという想いが
素敵な技術とともに、さらに広まっていったほしいと思いました。



● インクルーシブ自転車

インクルーシブ；包み込むような、包摂的な

子どもからお年寄り、障がいのある方等
年齢や性別、属性を問わず

誰も仲間外れにすることなく同じもので同じ場所で
一緒に楽しむことの出来る自転車のこと。

伊豆には、地域の人々も知らないような魅力がたくさんあり、そのような魅力を知ることができるイベントもたくさんあると知りました。しかし、このようなイベントに参加する人々が少ないという現状があるため、少しでも多くの人々がイベントに参加し、伊豆の魅力を知ることができるように、より効果的な情報発信について考えていきたいと思いました。

伊豆には、現在使われていない施設をリノベーションし、新たな施設として利用している場所が多くあることを知りました。しかし、このように有効活用されている施設は限られています。そのため、まだ活用されていない場所・空間を有効活用し、地域の人々が交流できる場をつくっていききたいと思いました。

静岡大学 地域創造学環 フィールドワーク紀行

令和5年 3月 31日発行

編集発行 静岡大学 地域創造学環 学内連携地域拠点フィールド
